

MS344-26004

GRサイドスカート Ver. I

取扱要領書

この度はGR サイドスカート Ver. Iをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本書には本商品の取り付け・取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、正しい取り付け・取り扱いを実施してください。

●本商品は未登録車への取り付けは出来ません。取り付けは必ず車両登録後に行ってください。

■品番・適合車種

品番	適合車種	年式	備考
MS344-26004	ハイエース	25.2 ~	5ドア車、除くマッドガード (カラード)、マッドガード付き車

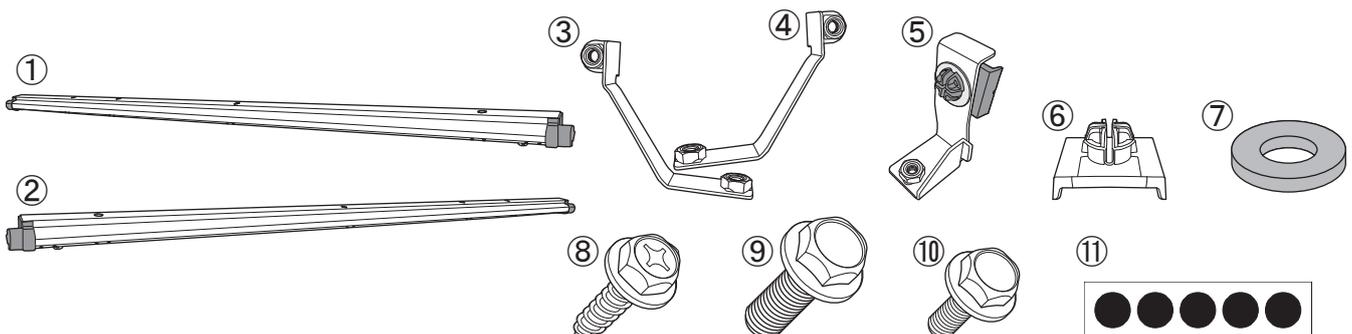
・最新の適合情報はTRD カタログサイトをご覧ください。 <https://www.trdparts.jp/>

■構成部品

No.	品名	個数	備考
①	サイドスカート RH	1	
②	サイドスカート LH	1	
③	ブラケット A	1	フロント側 RH 用 (識別シール付き)
④	ブラケット B	1	
⑤	ブラケット C	2	リヤ側用 (左右共通)、ワッシャー/グロメット組み付け済み
⑥	グロメット	8	
⑦	ワッシャー	8	
⑧	タッピングスクリュー	10	M6 × 16 P=1
⑨	ボルト A	2	M8 × 16
⑩	ボルト B	4	M6 × 12
⑪	パネルブラインドシール	10	

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■構成部品図



取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。

⚠ 警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。

⚠ 注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。

アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠ 注意

- ❗ 本商品の取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。純正部品を再使用する場合がありますので、復元する際に間違えないよう配慮し、紛失しないように保管してください。
- ❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。
- ❗ 本商品の装着により、タイヤとタイヤハウスとの隙間が少なくなる場合があります。洗車やタイヤ交換の際、手指を挟んだりぶついたりしないよう、ご注意ください。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 1
2. 取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ） 2
3. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について 2
4. 取り付け要領 3~6
5. 取り付け完了後の点検・注意事項 6

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具・スケール・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ ホワイトガソリンまたはイソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 保証について

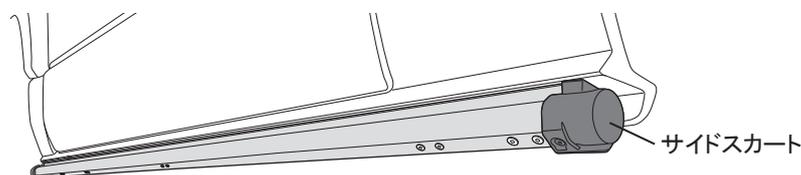
本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。

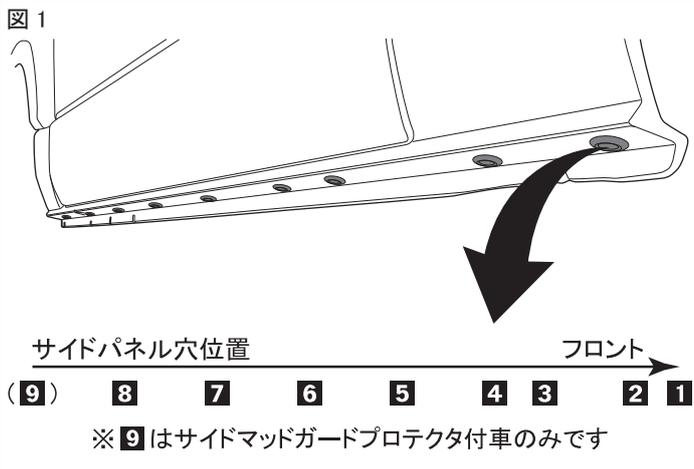
（1年または20,000km 走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト< <https://www.trdparts.jp/> >

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図

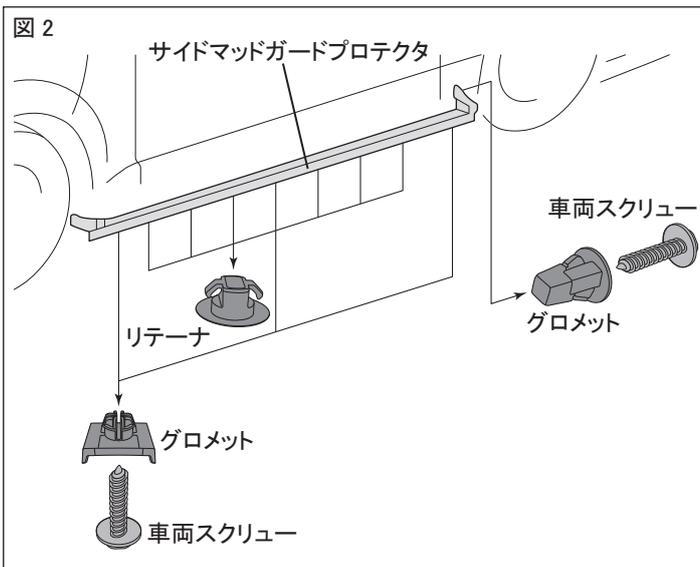




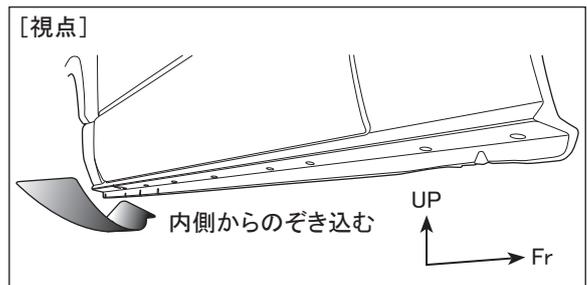
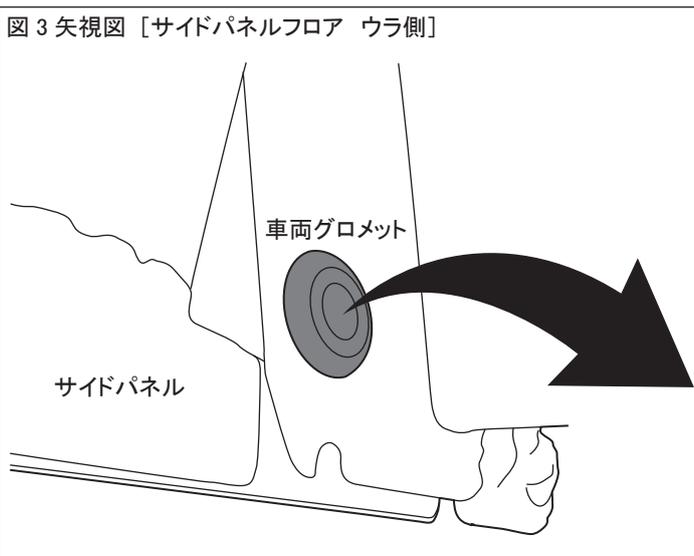
■ 本取り付け・取扱要領書は、おもに右側を示しています。左側も同様に作業を行ってください。

□ 取り付け準備

1. 図 1 の位置に装着されているサイドパネル下側の車両グロメット (8 個) をすべて取り外す。



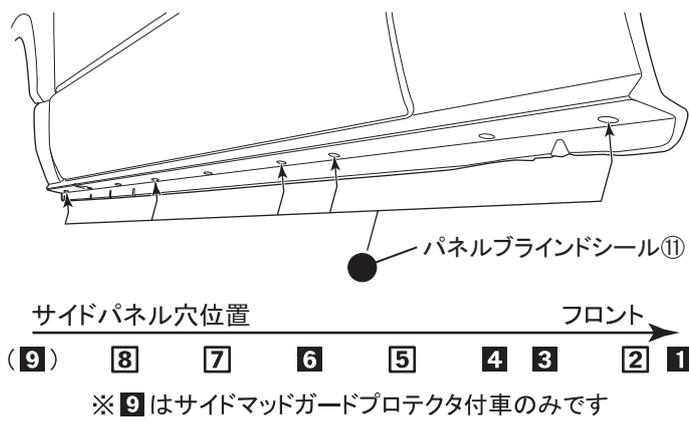
△注意：車両に「サイドマッドガードプロテクタ」が装着されている場合は、図示の車両スクリュー 3 本、リテーナ 7 個、グロメット 3 個を外し、サイドマッドガードプロテクタを取り外してください。



2. 図 3 矢視図の位置に装着されているサイドパネル下部内側の車両グロメットを取り外す。

△注意：取り外した部品は使用しません。

図 4



3. 図 4 を参照し、車両グロメットを取り外した穴周辺の汚れを拭き取り、IPA またはホワイトガソリンで脱脂をし、パネルブラインドシール⑩を貼り付ける。

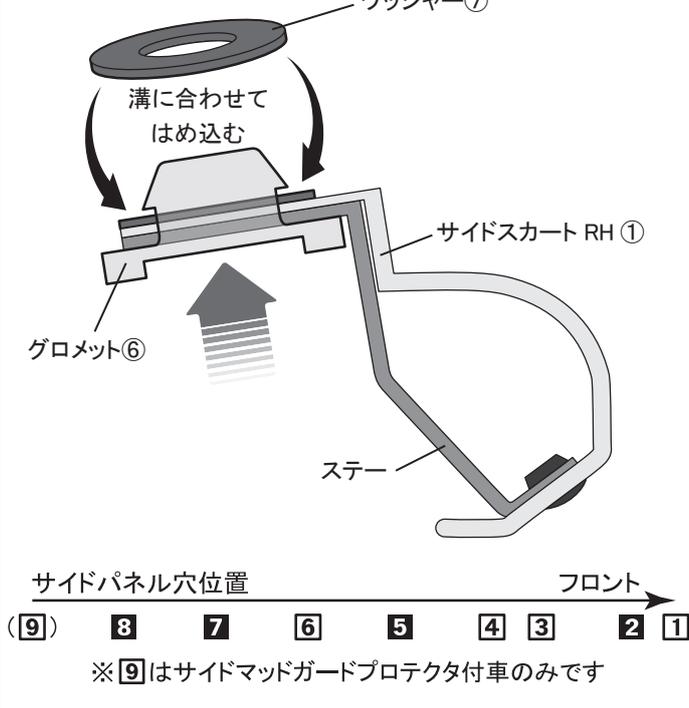
■ 貼り付け位置：1 3 4 6 (9)

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油分が残り、パネルブラインドシールがはがれる原因になります。

👉 アドバイス

- ・脱脂後は 10 分以上乾燥させてください。

図 5



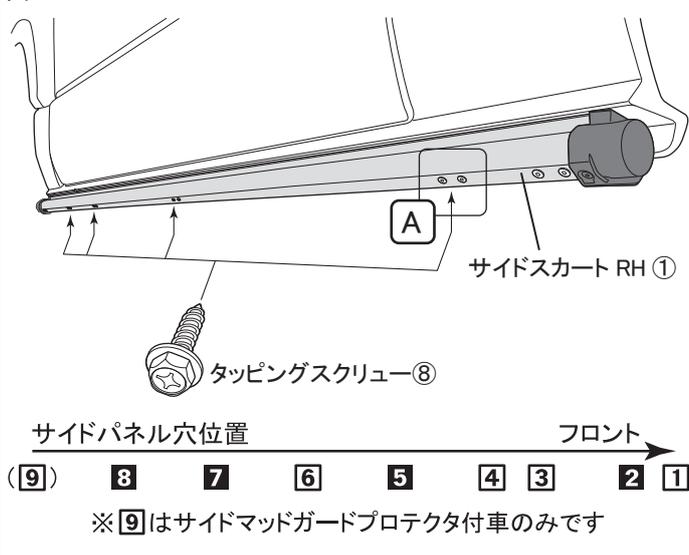
4. 図 5 を参照し、サイドスカート RH ① にグロメット ⑥ を取り付け。

5. グロメット⑥の溝に合わせてワッシャー⑦をはめ込む。

■ 取り付け位置（車両穴基準）

2 5 7 8

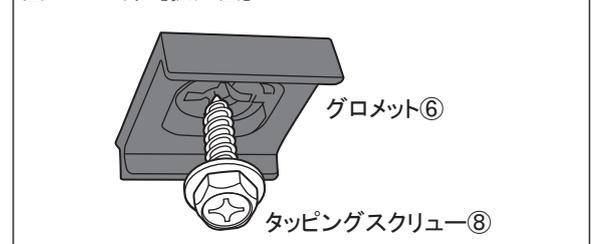
図 6



□ サイドスカートの取り付け

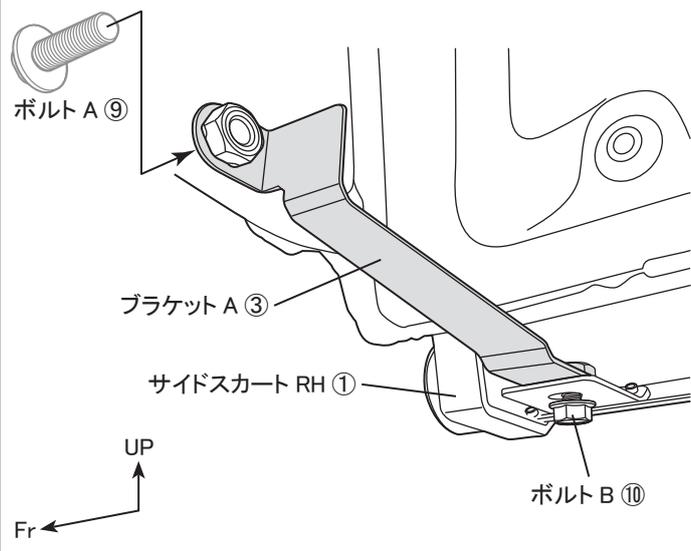
1. 図 6 を参照し、サイドスカート RH ① をサイドパネルに取り付け、タッピングスクリュー⑧で図示の 4 箇所を仮締めする。

図 6 の A 部 [拡大図]

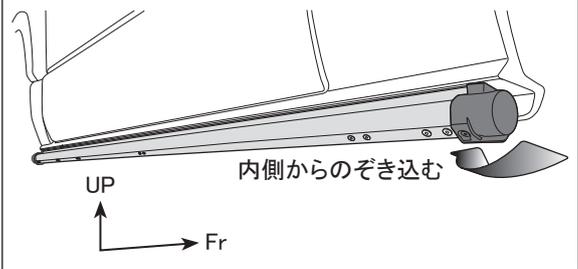


⚠注意：作業は 2 人以上で行い、製品の脱落に注意してください。

図7 矢視図

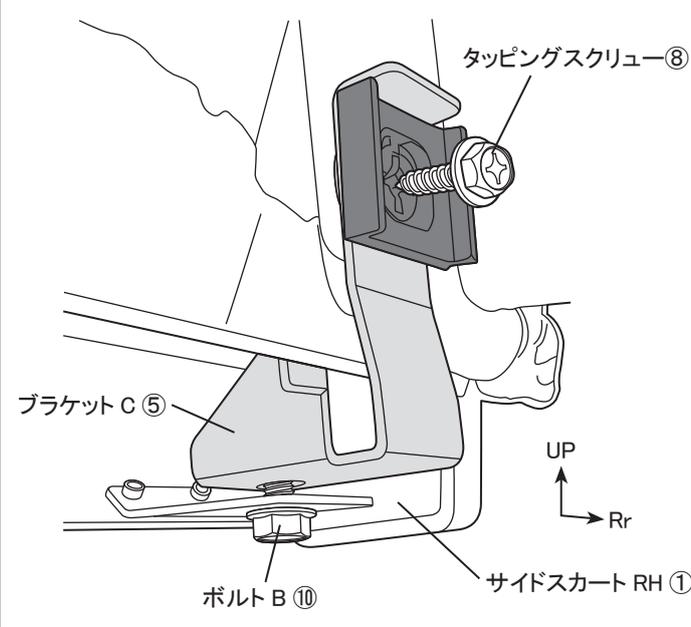


[視点]

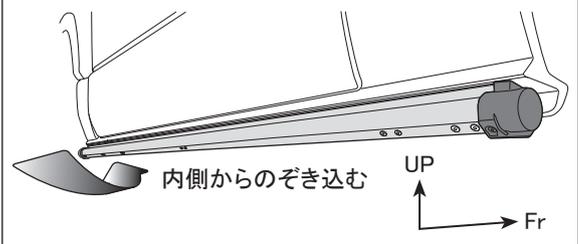


2. 図7のようにブラケット A ③を配置し、上側をボルト A ⑨、下側をボルト B ⑩で仮締めする。

図8 矢視図

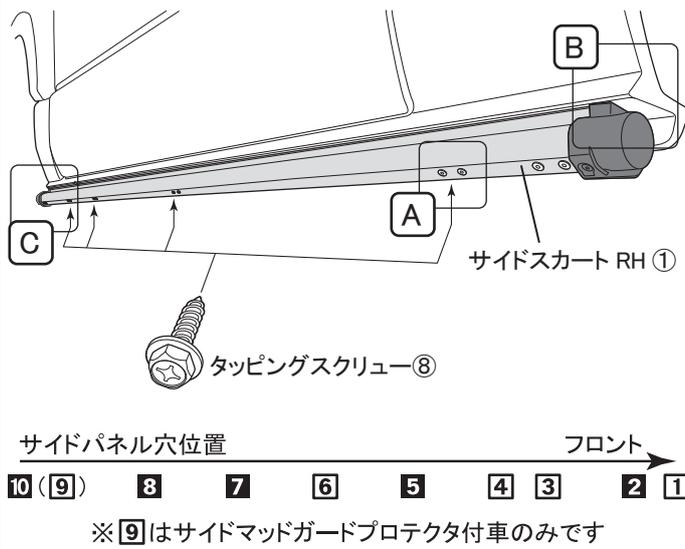


[視点]



3. 図8のようにブラケット C ⑤を取り付け、上側のグロメット部をタッピングスクリュー⑧、下側をボルト B ⑩で仮締めする。

図 9



4. サイドスカート RH ①の取り付け位置を確かめ、仮締め部のタッピングスクリュー⑧、ボルト A ⑨、ボルト B ⑩を本締めする。

ボルト A ⑨ 締め付けトルク [11 N・m]

ボルト B ⑩ 締め付けトルク [5 N・m]

⚠注意：ボルトを締め付ける際は、ブラケットを保持しながら締め付けてください。

⚠注意：エアーツール、インパクトレンチなどは使用しないでください。

図 9 の C 部 [拡大図]

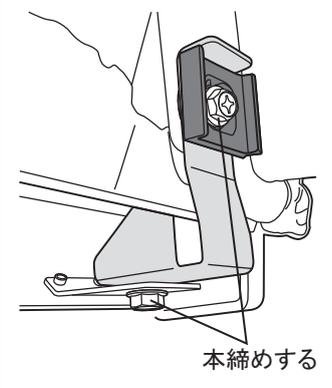


図 9 の A 部 [拡大図]

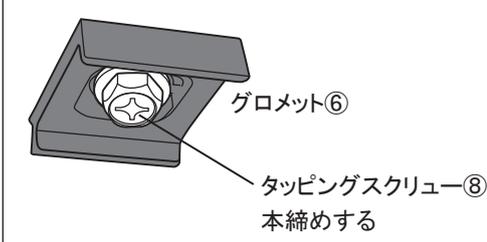
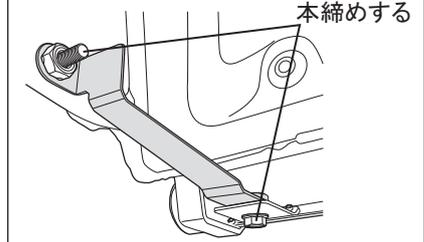


図 9 の B 部 [拡大図]



■ 取り付け完了後の点検・注意事項

1. サイドスカートがスクリュー・ボルトで車両へ確実に取り付けられていることを確認してください。
2. 製品および車両各部に緩みやガタ、干渉がないことを確認してください。
3. 取り付け後は試走を行い、異音やガタつき、干渉がないことを確認してください。
4. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
5. 該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

TRD商品問い合わせ窓口

TEL : 050-3161-2121

<https://www.trdparts.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

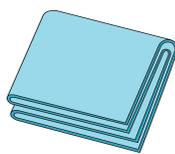


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス



WET 用
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



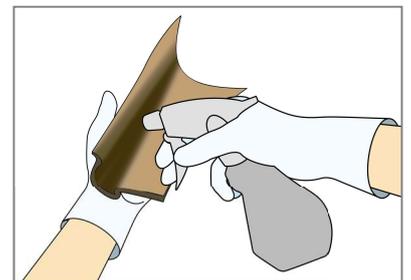
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

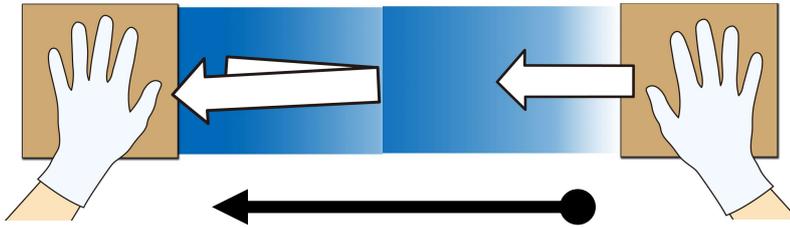
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1ブロック60cm程度として両手にWETとDRYのウエスを交互に持ち
WET⇒DRYの順に拭き上げて脱脂する。

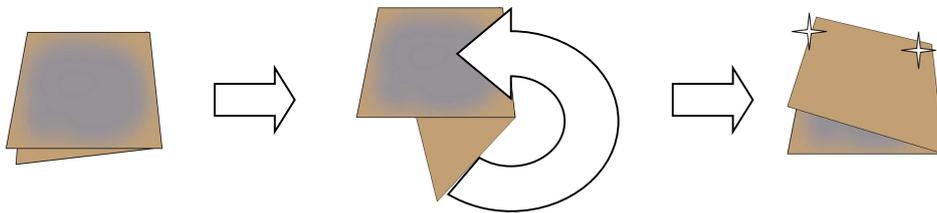
範囲が広い場合は1ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に3~5ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際にウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書にしたがって行ってください。